○議長（長澤健君）

続いて通告4番 6番 秋山稔君の一般質問を行います。

6番 秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

6番です。それでは一般質問を行います。1番の災害時の給水についてであります。1の水道管の破裂によりまして断水した場合、避難所や高齢者施設への給水方法についてであります。質問は飲料水と雑用水に分かれますけれど、主に飲料水について伺います。

南海トラフ地震が発生すると、太平洋側全域に被害がおよぶと言われております。自衛隊に救援要請をしても、主要道路が寸断したと仮定するならば、すぐの救援は不可能だと推測いたします。救援も期待出来ないとなると、富士川町独自で、当面は避難所や高齢者施設などへの安全対策やトイレ・飲料水などの災害対策をしなければならなりません。現在、町で給水車は1.5トンが1台、1トンの軽車両3台を保有しております。

そこで質問ですが、各避難所などを含めまして、町民の給水をするには、所有する給水車両を稼働することで充分可能なのか、伺います。

○議長（長澤健君）

上下水道課長 原田和佳君。

○上下水道課長（原田和佳君）

ただいまの質問にお答えいたします。低区配水池、高区配水池、北部配水池、殿原貯水場、大法師浄水場につきましては、地震もしくは過流量が発生いたしますと、緊急遮断弁が作動し配水を大幅に少なくして、破裂した水道管から水の流出を極力防ぐようになっております。

また、上水道事務所の敷地内にある低区配水池では、停電時でも同じ敷地内にある第6水源から、非常用発電機で取水が可能となっております。このようなことから、避難所などへの給水は、配水池の水を給水タンクに貯めて輸送する方法を考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

今の質問、ちょっと理解されているかということですが、各町で所有する車両で、町民のところに給水車を十分稼働をした場合、間に合いますかということですね。だから、早い話が、大久保とか最勝寺とか、そういうところへ今持っている給水車が行くことで行きわたりますかということですか。

○議長（長澤健君）

上下水道課長 原田和佳君。

○上下水道課長（原田和佳君）

ただいまの質問にお答えいたします。給水タンクも人員のほうも限られておりますので、このような場合には、住民の方々に、車は使える方や動ける方につきましては、上水道事務所などに水を取りに来ていただく方法を考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

車には、給水車両というのは限りありますので、そういった町民のほうから来てもらうことも大切だというふうに思います。

再質問ですけれど、自主防災やそれから消防団の応援によりまして、ポリタンクで各避難所や施設へ給水する事項については地域防災計画にも記載されておりますけど、町内全域となりますと、職員の応援も可能かもしれませんが、他の業務にも稼働がかかり、とても無理ではないかというふうに思います。

しかし、給水には時間と人員の確保が必要であると思いますので、そこで質問ですけれど、災害の規模によって違いますけれど、飲料水だけでも、町民の皆さんに協力していただくことなど、非常時には要員確保の体制も構築をすることも必要であると思いますけれど、その辺はいかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

上下水道課長 原田和佳君。

○上下水道課長（原田和佳君）

ただいまの質問にお答えいたします。議員さんのおっしゃるとおり、数、人数、資材等も限りがありますので、住民の皆様方には常日ごろから、浴槽に水を溜めておくとか、飲料水につきましてはペットボトルやポリタンクなどに備蓄していただくような方法をお願いするような次第でございます。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

ぜひ、そのように町民の方々にも協力していただいて、自分の水を確保するためにも、協力していただくということが大切だと思います。

それでは再質問ですが、中山間地の給水方法についてでありますけれど、穂積・平林・十谷、要するに3筋です。中山間地域に、そういう飲料水の補給が出来ない時には、区によっては、ろ過装置を準備して、自主防災が毎月点検して、飲料水確保のために災害に備えている区もあります。ちなみに、自衛隊の災害派遣は第1特科隊が忍野から派遣するということになっているそうです。山梨県を峡北・峡南・東部等に部隊毎に派遣が決まっているということです。基幹道路が寸

断されると特科隊のブルで土砂を排除してから物資を運搬するということであります。ヘリ・車両が無理なら隊員がポリタンクを背負って、現地まで行くということをおっしゃっていました。

そこで質問ですけれど、中山間地への給水が困難である場合は、町としての対応とか対策はどうするのか、伺います。

○議長（長澤健君）

上下水道課長 原田和佳君。

○上下水道課長（原田和佳君）

ただいまの質問にお答えいたします。山間地、簡易水道区域につきましては、下のほうから上水道区域の水を給水タンク等で輸送する方法を考えておりますが、今、議員さんがおっしゃったとおり、交通が遮断されるようなことも考えられますので、先ほども申したとおり、常日ごろから、住民の方々には水の備蓄をお願いしたいということと、また地震が起きた際には、身の安全を確保してからではございますが、すべてが急に断水になると限りませんので、蛇口をひねっていただくと、水が出るようであれば、ペットボトルなり、給水タンクに水をいれていただくと、そういう準備をしていただくようなことを考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

特に、町内だけでなく、その中山間地の3筋のところは、やっぱり道路が土砂崩れとか、崖が落ちたという場合は、想定した場合には、水を運ぶのはかなり厳しいのではないかと思いますので、やはりその辺の対策も考えていただいて、今後検討していただきたいというふうに思います。

それでは2番目の質問ですけれども、現在、飲料水の配水池、満水時には2千トンが2基、1500トンが1基、1千トンが2基、300トンが1基、計6基7800トン確保できますけれども、町民約1万4700人を対象に30日給水するということになりますと、単純計算で1日当たり1人約17リットルになると思います。この水で洗顔をしたり、手洗いをしたり、飲料水などに使用します。その他にもトイレの水などたくさんの水が必要となってきます。避難所に300人と仮定すると、トイレは男女53の便器が必要になると「空気調和、衛生工学会」が準備したい便器数として「避難所の飲料水・トイレのガイドライン」の改訂版に掲載されていますけれども、平常時、人間が一日活動するために必要な水は、摂取が約2リットルから2.5リットル、汗など排出する水量が2リットルから2.5リットルと言われております。この数値が災害時の必要水量の基礎となっているそうです。受水槽の容量8万リットルですと、1人20リットルの給水量が必要な場合は、給水対象人数は4千人分となります。避難日数10日で400人分、

500人ですと8日分しかありません。飲料水以外は川の水を利用することも可能ですけれど、広報で、家庭では風呂に水を張っておくことや、ペットボトル1日1人3リットルが最低限必要であると、ペットボトル3本の備蓄を周知しています。飲料水以外に使用するためには、小中学校のプールに水を張っておくことも対策のひとつになるのではないかと思います。

そこで質問ですけれど、現在の配水池の容量で町民全般にわたる給水が、充分の貯水量なのか伺います。

○議長（長澤健君）

（2）の質問ですよ。

上下水道課長 原田和佳君。

○上下水道課長（原田和佳君）

ただいまの質問にお答えいたします。現在、使用できる給水タンクは、1トンのタンクが3基、1.5トンのタンクが1基となっております。それぞれをトラックに積んで、配水池から取水した後、各避難所などへピストン輸送する方法で給水の確保を考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

可能ということですので、わかりました。

それでは（3）番の質問にいきます。沢の水、雨水、井戸水などを貯めておくことで災害時には使用できると考えています。いつ発生するか分からない災害に対しまして、先に述べたように、ペットボトルや風呂に水を張っておくのも大切です。なぜ、ペットボトル3本必要なのかということですが、発生時から日数が経過する毎に、段階的に必要水量が増えることとなります。地震発生から3日までは1人1日3リットルぐらいです。それから10日まで20リットル、21日まで100リットル、28日以降は、災害前の給水量約250リットル必要とされています。飲料水のほかにトイレや洗濯などに使用する水も大量に必要となりますけれど、そこで質問です。

雨水を利用してタンクに貯水する「雨水タンク」を購入する際、今後、町からの助成ができるか伺います。

○議長（長澤健君）

防災交通課長 望月聡君。

○防災交通課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。雨水タンクに溜めた水は、災害時において水が不足する際に、手洗いやトイレの流し水などの生活用水として活用できると認識しております。

また、他の水を溜める方法としては、お風呂やバケツ、シンクに水を溜めるなど、生活用水を確保することが可能であります。

こうしたことから、雨水タンクへの購入助成は考えておりませんが、災害時の生活用水の確保は大変重要でありますので、町広報誌やホームページにおいて周知して参りたいと考えております。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

雨水タンクは、ほかの市町村というか県内でなくても助成を出しているところもありますけれど、今後の富士川町におきましても、こういう取り組みについては、非常に大事になってくるのではないかというふうに思いますので、今後については、雨水タンクを購入する場合には助成のことも少し考えていただきたいというふうに思います。

それでは大きな2番の増穂商業高校の避難所、避難地についてでありますけれども、統合後は、現在、避難所避難地として平成29年3月22日に基本協定書を交わしていますが、避難所として体育館、弓道場など5箇所。避難期間は10日未満とありまして、そのほかにも緊急時避難先は乙の校長先生、教頭先生、事務長の順になっています。

そこで質問ですけれども、基本協定の甲と乙の関係につきまして、今後運用面において、甲と乙の必要項目の見直しが必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

秋山議員、今のは（1）の質問になりますか。（1）は、統合後は従来どおり避難所として、継続可能か伺うという質問ですが、それでいいですか。

○6番議員（秋山稔君）

はい。

○議長（長澤健君）

防災交通課長 望月聡君。

○防災交通課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。町は、平成28年度に増穂商業高等学校と「災害時等における山梨県立増穂商業高等学校の避難所及び避難地の利用に関する基本協定」を締結いたしました。この協定により、災害時において周辺住民の安心できる避難先を確保することができたところであります。

しかし、増穂商業高等学校は青洲高等学校に統合することが決まっておりますので、今後の使用方法などを協議することとしておりますが、統合後の学校施設の電気、水道をどうするかなど、現時点において、学校側では未決定な部分があ

りますので、町といたしましては、今後も継続して利用させていただきますよう要望して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

避難所というふうになっていますので、いつ起こるかわからないというような災害も想定される中で、これも見直しできる場所は、他の所であればいいんですけど、避難所ということであれば、できれば早いうちに見直しをしていただきたいというふうに思います。

それでは3番の女性の視点からの避難所運営について（1）ですけれども、避難所には、高齢者、子どもなどたくさんの方が狭い区間での共同生活を行います。そこにはいろいろ問題が発生することになりますけれども、特に女性は授乳、幼児の子育て、多岐にわたり配慮が必要となります。安全で安心な避難所として環境を作らなければなりません。そのためには、日ごろからの準備が大切であると思います。避難所では、運営体制や役割分担、女性用品、相談窓口などそれぞれに配慮した運営を行うことが求められます。男性では気づきにくい点多々あると思います。授乳スペースや乳幼児世帯など優先的なスペースが必要となります。そんな視点に立って、避難所運営することが重要になってきます。

そこで質問ですけれども、核となるリーダー的女性の配置が必要ではないかというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長（長澤健君）

防災交通課長 望月聡君。

○防災交通課長（望月聡君）

ただいまのご質問にお答えをいたします。町は、各避難所において使用する備蓄品につきまして、老若男女問わず誰もが安心して過ごせるよう購入を進めております。

また、防災訓練を通じた各課からの意見には、女性ならではの特性や実情を考慮したきめ細かな対応が必要であるとの意見もあることから、備蓄品を準備する際や、避難所の開設運営をする際に反映しているところであります。

さらに、災害が発生し、避難所を開設した場合には、避難所ごとに中心となる人物を選出し、避難所運営を行うこととなっておりますので、構成員の中に女性リーダーを登用するなどして、女性の意見を避難所生活に反映して参りたいと考えております。以上です。

○議長（長澤健君）

秋山稔君。

○6番議員（秋山稔君）

わかりましたけれど、各避難所でそのリーダーさんといいますか、まとめて、それを一括していろいろな手配をするというリーダー的な、その核となる、その女性といいますか、差別するわけではないのですが、そういうリーダー的な方が一人いて手配できる。あっちはこっち、こっちはあっちを、各避難所にその人が中心に取りまとめたものを手配できるというような人が、一人くらいは、今後あればいいのではないかと思います。以上で私の質問はこれで終わりますけれども、防災には防ぐ防災と忘れてはいけない防災があるのではないかとこのように私は思っております。

以上で私の質問を終わります。

○議長（長澤健君）

以上で通告4番 6番 秋山稔君の一般質問を終わります。